

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	280	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	624	338	772	772
事業費計		(千円)	904	338	772	772
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	28.00	49.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,482	1,478		
事業コスト		(千円)	2,386	1,816		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品（献血協力者への記念品）（352千円） 80円×4,000個×1.1=352,000円 ・骨髄移植ドナー助成金（420千円） 1日20,000円×7日（上限7日）×3人分
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	35,535	36,122	35,525	35,525
事業費計		(千円)	35,535	36,122	35,525	35,525
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.20		
		時間外勤務 (時間)	28.00	49.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,893	1,534		
事業コスト		(千円)	38,428	37,656		

R02年度当初積算根拠	・休日診療委託 (北部・南部) 6,714,840円
	・病院群輪番制委託 毎夜間・日曜祝日 63,936円×437日=27,940,032円
	・休日緊急歯科診療委託 年末年始 51,600円×12人×1.1= 681,120円
	・院外薬局機関委託 年末年始 10,000円×17薬局×1.1= 187,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,100	816	1,319	1,319
事業費計		(千円)	1,100	816	1,319	1,319
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	1.00		
		時間外勤務 (時間)	189.00	245.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,409	7,665		
事業コスト		(千円)	6,509	8,481		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ感染対策防護服 (M・L) 300セット 924,000円 ・予防衣 33,000円 ・グローブ 33,000円 ・ワクチン保管用保冷バッグ 20,240円 ・新型インフルエンザ等対策行動計画製本印刷代一式 308,000円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	902	4,227	2,554	2,554
事業費計		(千円)	902	4,227	2,554	2,554
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	1.00		
		時間外勤務 (時間)	108.00	245.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,208	7,665		
事業コスト		(千円)	6,110	11,892		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> つくば健康フェスタ 記念品等 520,000円 つくば健康フェスタ開催案内チラシ 100,000円 つくば健康フェスタ会場設営委託料 115,500円 つくば健康フェスタ駐車場代 69,550円 第4期健康増進計画策定業務委託 1,748,000円 <ul style="list-style-type: none"> 1) 健康づくりの目標及び目標値の検討等 509,273円×1.1=560,200円 2) 計画書・概要版の編集、校正、修正、作成等 132,980円×1.1=146,278円 3) 議事録の作成、業務打合せ 119,366円×1.1=131,303円 4) 成果品印刷等 560,519円×1.1=616,571円 4) 諸経費 266,512円×1.1=293,163円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	376 放射線検査費用助成事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 健康総務係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	平成25年度～							
個別計画										
根拠法令	つくば市東京電力原子力事故に係る放射性物質による健康影響検査受診費助成規則				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
H23年3月に発生した東日本大震災に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質に関して、健康影響検査費用の一部を助成し、子どもたちや妊婦の健康不安の軽減を図る。					<ul style="list-style-type: none"> ・H4年3月12日以降に生まれた者（東日本大震災当日18歳以下の者）で検査受診日につくば市に住民登録のある者、または検査受診日につくば市に住民登録のある妊婦 ・甲状腺エコー検査またはホールボディカウンター検査（助成額 各検査上限3,000円） ・助成回数は助成対象期間内においていずれかの検査1回 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフプランすこやか、ホームページへ情報掲載し事業の周知を図る。 ・放射性物質による健康影響検査を受診した者に対して助成金を交付する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・甲状腺エコー検査を2人に実施し、いずれも正常範囲。 ・助成金 3,000円×2人=6,000円 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・助成金の交付により検査の負担軽減を図ることができた。 					<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数が減少してきている。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> ・今事業における助成対象期間が令和3年（2022年）3月31日までであるため、今年度周知を強化し、申請数が大幅に増加しない場合は事業の継続について検討する。 										
指標の推移										
1	指標名	助成対象者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	240.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0		
	実績	43.0	46.0	13.0	38.0	7.0	2.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	21	6	60	60	
事業費計		(千円)	21	6	60	60	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20			
		時間外勤務 (時間)	34.00	49.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	1,497	1,534			
事業コスト		(千円)	1,518	1,540			

R02年度当初積算根拠	・放射性物質による健康影響検査受診費助成金 3,000円×20人=60,000円						
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	377 健康づくり推進協議会関係									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 健康総務係			
総合戦略						新規・継続	継続			
						事業分類	法定事務			
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費					市民参加	■ 共有、理解			
要求区分	事業期間 平成18年度～						■ 企画・立案、計画			
個別計画	つくば市健康増進計画「健康つくば21」						■ 実行			
根拠法令	健康増進法					事業体制	職員のみ			
						市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
市民の健康づくりを計画的かつ総合的に推進するため。					<ul style="list-style-type: none"> 次に掲げる事項について協議する。 <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりのための施策に関すること 健康づくりのための事業に関すること その他健康づくりのために必要と認められる事項に関すること 					
評価										
事業計画					活動実績					
7月 R1年度新規委員4名を任命（12名は継続） 第1回推進協議会開催 2月 第2回推進協議会開催					7月25日 令和元年度新規委員（4名）任命 第1回推進協議会開催 2月27日 第2回推進協議会開催					
成果					課題					
・第4期健康増進計画策定のアンケート調査結果概要について、助言を得ることができた。					・協議会の意向を第4期健康増進計画に反映していく必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
・第3期健康増進計画の評価及び第4期健康増進計画のアンケート結果を検証するとともに、パブリックコメントの結果を参考に、計画策定に向けて活発な意見交換を図る。										
指標の推移										
1	指標名	会議開催回数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0		
	実績	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	228	91	517	517
事業費計		(千円)	228	91	517	517
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	91.00	97.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,049	3,064		
事業コスト		(千円)	3,277	3,155		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・委員謝礼 8,000円×16人×4回=512,000円 ・委員返信用切手 84円×50枚=4,200円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	379 健康情報管理システム事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-040101-80 健康情報管理システムに要する経費							
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画						事業体制	一部委託	
根拠法令					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>市民の健康情報を集積し分析を行い、実情に即した効果的な事業を実施するとともに、3保健センター、健康増進課、いきいきプラザ間の健康情報共有化を図る。</p> <p>長期的管理が必要な情報等の管理・活用を図る。</p> <p>各健診(検診)事業の受診者・未受診者を把握し対応する。</p> <p>健康管理情報に基づき、家族単位での総合的な指導等を行う。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 市民の成人健診(検診)データ・母子保健データ・予防接種データ等をシステム内に入力し、データの維持管理を行う。 蓄積された健康管理情報を集積し分析を行う。 各健診(検診)事業の受診者・未受診者の把握を行う。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 実務者レベルでの協議を定期的実施するとともに、前年度決定したシステムの改修項目について、茨城計算センターとシステム改修委託契約を締結し、カスタマイズ変更を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 通常の改修項目のカスタマイズ変更(すこやか母子カードの管理項目追加等)に加え、母子保健情報連携システム改修を行った。 健康情報管理システムの利用環境を向上させるため、健康増進課、保健センター(桜・谷田部・大穂)、いきいきプラザから意見を収集し、次年度の改修項目を決定した。 				
成果				課題				
<p>各担当者の意見をもとに、事業内容に合わせたシステムの改修項目を決定することから、次年度以降の業務効率化が期待できる。</p>				<p>市民の健康情報の共有化及び事務処理の効率化を図るために、今後も定期的にシステムを見直し、改修していくことが必要である。</p>				
改善目標 (R02年度にむけて)								
社会情勢の変化に対応できるシステムを構築するため、実務者レベルでの協議を定期的実施する。								
指標の推移								
1	指標名	各事業のデータ入力件数 (件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	132,000.0	170,000.0	172,000.0	174,000.0	176,000.0	178,300.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,981	3,638	3,542	3,542
事業費計		(千円)	2,981	3,638	3,542	3,542
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	1,412	1,357		
事業コスト		(千円)	4,393	4,995		

R02年度当初積算根拠	委託料 3,542千円 (保守点検委託料: 2,640千円 改修委託料: 902千円)					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,129	1,551	3,036	3,036
事業費計		(千円)	1,129	1,551	3,036	3,036
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	9.00	9.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,846	2,737		
事業コスト		(千円)	3,975	4,288		

R02年度当初積算根拠	要注意者予防接種委託料 3,036千円					
-------------	---------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	388 不妊治療費助成事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係				
総合戦略	II	1	(1)	子育て環境の整備	新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-040103-13 不妊治療助成に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分			事業期間							
個別計画										
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊で悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため。					<ul style="list-style-type: none"> 申請による助成金の交付。 助成額は、1回の治療につき5万円を限度とする。 助成回数は、初回の助成を受けた際の治療開始日における妻の年齢が39歳までの方は通算6回まで、40歳から42歳までの方は通算3回までとする。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 県担当者とも連携を図りながら、対象者に広く周知する。 窓口や電話での問い合わせ等に適切に対応するとともに、申請者に対しては助成金を交付する。 					<ul style="list-style-type: none"> 助成件数 実179人/延272件 					
成果					課題					
特定不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図ることができた。					不妊治療は健康保険適用外の治療が多く、不妊治療を行う夫婦にとって経済的負担が大きい。					
改善目標（R02年度にむけて）										
子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な治療が開始できるよう、R2年度から不妊検査及び一般不妊治療費に対する助成を開始する。										
指標の推移										
1	指標名	助成金交付実人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	180.0	190.0	200.0	210.0		
	実績	178.0	196.0	176.0	180.0	190.0	179.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	13,950	13,200	16,686	16,686
事業費計		(千円)	13,950	13,200	16,686	16,686
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	16.50	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,159	2,109		
事業コスト		(千円)	16,109	15,309		

R02年度当初積算根拠	需用費	36千円
	扶助費	16,650千円 (特定不妊治療: 14,250千円 不妊検査及び一般不妊治療: 2,400千円)

予算の方向性	理由	R2年度より特定不妊治療費助成事業を実施するため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	389 養育医療給付事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-040103-14 養育医療給付に要する経費									
要求区分	既存事業	事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画										
根拠法令	母子保健法				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
未熟児に対し、生後速やかに必要な医療の給付を行い、保護者の経済的な負担を軽減する。					未熟児に対して出生後速やかに適切な処置を講ずる必要があることから、指定療育医療機関において、必要な医療の給付を受けることができるように、養育医療申請に対し速やかに審査等を行い給付の決定をし医療券を交付する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 申請の受付及び審査を行い、養育医療券を交付する。 扶養義務者から、つくば市養育医療給付に関する規則の規定による額を徴収する。 台帳等を整備し、給付の状況を明確にし管理する。 母子健康手帳交付時など機会あるごとに、早産にならないように保健指導を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時保健指導数：2,454件 養育医療券交付実人数：31人 医療券の交付及び保護者の負担金徴収を滞りなく実施した。 過年度分の滞納者に対し督促を重ね、全額収納し、滞納繰越分を無くした。 					
成果					課題					
養育医療券を交付することで、保護者の経済的負担を軽くし、児に対して必要な医療を提供することができた。					診療時期から数ヶ月後が保護者負担金の納付時期となるため滞納となることがある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
滞納者を出さないよう納付管理を徹底する。										
指標の推移										
1	指標名	養育医療券交付者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	53.0	38.0	43.0	45.0	34.0	31.0	0.0		
	指標の概要	養育医療券を交付した人数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	3,898	4,352	6,489	6,489
	県支出金	(千円)	1,903	2,176	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,012	2,125	2,440	2,440
	一般財源	(千円)	1,811	50	2,174	2,174
事業費計		(千円)	9,624	8,703	11,103	11,103
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.60		
		時間外勤務 (時間)	13.00	8.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,562	4,090		
事業コスト		(千円)	13,186	12,793		

R02年度当初積算根拠	役務費	10千円
	扶助費	11,093千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	459	486	632	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	908	1,304	1,494	0
事業費計		(千円)	1,367	1,790	2,126	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	14,114	13,566		
事業コスト		(千円)	15,481	15,356		

R02年度当初積算根拠	報償費	177千円
	旅費	12千円
	需用費	1,043千円
	役務費	90千円
	委託料	504千円
	備品購入費	58千円
	負担金補助金及び交付金	242千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	396 医療保護入院に関する業務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 成人保健係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-040104-13 精神保健に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間								
個別計画										
根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>保護者のいない人が精神疾患により医療保護入院が必要になった際は、市長が保護者となり入院の同意をすることで、適切な治療が行えるようにする。</p>					<p>・医療保護入院が必要な案件が発生した場合、市長同意の医療保護入院手続きを速やかに行い、対象者に適切な治療を受けさせる。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>・医療機関から医療保護入院に関する依頼があったものについて、医療保護入院手続きを速やかに実施する。</p>					<p>・5名の医療保護入院に対して市長同意を実施（うち1名は2回実施） 現在21名が医療保護入院中</p>					
成果					課題					
<p>医療保護入院に市長同意をすることにより、患者に必要な治療に繋ぐことができた。</p>					<p>保護者がいない者に対し医療保護入院を行う際、医療機関、関係部署（障害福祉課）、保健所及び警察との連絡が滞ることがある。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>医療機関から医療保護入院に関する依頼があった際は、正確かつ迅速に各関連施設、関連部署と連絡を取り、適切な治療につなげる。</p>										
指標の推移										
1	指標名	医療保護入院の手続き人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	10.0	6.0	3.0	2.0	6.0	5.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	679		
事業コスト		(千円)	706	679		

R02年度当初積算根拠	事業費なし					
-------------	-------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	397 保健センター施設管理事務									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 健康総務係			
総合戦略						新規・継続	継続			
						事業分類	任意的事務			
予算科目	01-040106-11 保健センター管理に要する経費									
要求区分		事業期間				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画										
根拠法令						事業体制	一部委託			
						市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
施設の整備及び管理をし、市民が安全に保健センターを利用できるようにする。					・保健センターに係る保守点検委託及び保健センター内の修繕及び修繕工事を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
・年度を通して、維持管理に必要な保守点検委託や不良箇所の修繕工事を行う。					保守点検業務 電気保安1件（荃崎）、消防設備点検2件（谷田部・桜・豊里・荃崎）、空調2件（荃崎・桜・豊里）、清掃1件（谷田部・桜・豊里・荃崎）、飲料水2件（谷田部・荃崎）、自動ドア保守1件（谷田部・桜・豊里・荃崎）、非常通報装置検査1件（谷田部・桜・大穂）、植栽2件（谷田部・荃崎・桜・大穂） その他施設修繕等工事 20件					
成果					課題					
保健センターについて、市民の利用環境の維持・向上を図ることできた。					施設の老朽化に伴い、施設の修繕・維持管理を計画的に行う必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
年度を通して、維持管理に必要な保守点検委託や不良箇所の修繕工事を行う。										
指標の推移										
1	指標名	施設保守点検管理委託数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	30.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	22.0	15.0	31.0	32.0	34.0	32.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	107	0	0	0
	一般財源	(千円)	50,335	18,714	22,753	22,753
事業費計		(千円)	50,442	18,714	22,753	22,753
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	80.00	97.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,022	3,064		
事業コスト		(千円)	53,464	21,778		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 (8,791千円) : 光熱水費 (4,927千円)、施設修繕料 (1,742千円) 等 ・役務費 (1,943千円) : 電話料 (1,650千円)、手数料 (231千円) 等 ・委託料 (10,448千円) : 清掃委託料 (6,097千円)、空調機器保守点検委託料 (1,200千円) 等 ・使用料及び賃借料 (557千円) : AED賃借料 (203千円)、複写機賃借料 (253千円) 等 ・工事請負費 (858千円) : 谷田部HC空調設備設置工事 ・備品購入費 (156千円) : スキャナー一式×3台
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,358	5,791	4,328	0
事業費計		(千円)	5,358	5,791	4,328	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	12,415	12,574		

R02年度当初積算根拠	報酬	3,386千円
	報償費	208千円
	旅費	282千円
	需用費	205千円
	役務費	247千円
	計	4,328千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	400 健康長寿推進事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 健康推進係				
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-040105-13 健康長寿推進に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」									
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約	31-2				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>若い世代からの生活習慣病予防・重症化予防に取り組み、高齢者になっても住み慣れた地域で、健康でいきいきした生活を送ることができるよう健康寿命を延ばし、地域に貢献する元気な高齢者を増やすとともに、世代間交流を通して地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>健康なまちづくりの推進を強化して、介護保険給付費の抑制と医療費の削減を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流出前教室 地区の集会所や研修センター等に出向き、健康講話や体操などを実施する。 予防事業参加者の医療費分析を行う 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流出前教室の開催 (ボランティア協力を得ながら) 自主活動支援 事業啓発 予防事業参加者の医療費分析を行う 					<ul style="list-style-type: none"> 〈多世代交流出前教室〉 団体数51団体 実施回数384回 延参加人数3661人 予防事業参加者の医療費分析を行った。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 地区活動を通して事業啓発を行い、新規団体の獲得につなげることができた。 					地区により利用団体が少ないところがある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
新規団体を増やすため、地区活動を引き続き行う。										
指標の推移										
1	指標名	教室参加延人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	9,000.0	9,000.0	5,300.0	5,500.0		
	実績	0.0	0.0	8,543.0	9,804.0	5,128.0	4,821.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,115	9,868	0	0
事業費計		(千円)	9,115	9,868	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	10,586	10,175		
事業コスト		(千円)	19,701	20,043		

R02年度当初積算根拠	令和2年度は運動推進事業に要する経費に統合して計上					
-------------	---------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	予防事業参加者の医療費分析が令和元年度で終了するため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	537	462	516	0
	一般財源	(千円)	4,750	4,539	4,662	0
事業費計		(千円)	5,287	5,001	5,178	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,529	3,392		
事業コスト		(千円)	8,816	8,393		

R02年度当初積算根拠	需用費2830千円 役務費489千円 委託料2814千円 使用料及び賃借料208千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	954 定期予防接種事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係		
総合戦略					新規・継続	統合		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-040102-11 予防接種に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令	予防接種法				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
予防接種法によって行われるワクチンを接種することで、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。 高齢者予防接種については、個人の発病・重症化防止を図る。				・定期の予防接種(ヒブ、小児肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、大人の風しん、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ)を行う。 ・対象となる市民に対し、個人通知や市ホームページ等を通して、予防接種に関する知識の普及、接種勧奨を行う。 ※予防接種後の健康被害等の相談窓口としての役割を持つ。				
評価								
事業計画				活動実績				
・毎月 接種履歴入力的外部委託のため予診票確認処理年齢に応じた接種勧奨を個人通知等により実施 ・9月 高齢インフルエンザ個人通知、医療機関へインフルエンザ資料配布 ・10、11月 就学時健康診断にて予防接種接種状況確認 ・10、2月 麻しん風しん予防接種(MR)2期末接種者通知 ・1月 高齢者肺炎球菌予防接種未接種者通知 ・3月 市内医療機関を対象に予防接種説明会の実施				・4月：MR第2期及び高齢者肺炎球菌及び風しん第5期対象者個人通知、ロタウイルス予防接種検討 ・9月：MR第2期末接種者勧奨通知、高齢インフル個人通知 ・10月：就学時健康診断時に予防接種履歴確認 ・2月：MR第2期末接種者再々接種勧奨通知、高齢者肺炎球菌未接種者に再勧奨通知 ・3月：予防接種協力医療機関に次年度実施資料を送付 ・通年：予診票送付、日脳・二混等の接種勧奨通知、接種履歴管理 ・接種者数：延88,153件・抗体検査3,160件				
成果				課題				
・麻しん風しん1期2期、日本脳炎2期対象者等に個人通知し、予防接種の効果等情報を提供することで、接種行動につなげることができた。予防接種による健康被害の届出もなく事業を運営することができた。 ・ロタウイルス予防接種実施に向けて体制を整え、委託料の見直しを行った。				・子宮頸がんワクチンについて、積極的勧奨を控えることについて賛成、反対の意見がある。 ・予防接種間違い報告がある。				
改善目標 (R02年度にむけて)								
・子宮頸がんワクチンに関して、厚生労働省の方針に従った対応を行い、接種勧奨を継続する。 ・委託医療機関に、誤接種の案件を情報提供し注意喚起を継続する。								
指標の推移								
1	指標名	麻しん風しん混合ワクチン第2期接種率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	98.0	98.0
	実績	94.2	95.7	98.0	97.8	98.4	97.6	0.0
	指標の概要	対象者(2,511人)に対して接種した方(2,451人)の受診率						
2	指標名	高齢者肺炎球菌接種率(65歳) (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	38.0	41.6	44.1	45.1	40.8	49.7	0.0

	指標の概要	65歳通知者 (2,374人) に対して接種した方 (1,180人) の受診率						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	8,560	9,830	9,830
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	547,845	650,700	716,115
事業費計		(千円)	0	556,405	660,530	725,945
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	3.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	407.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	21,351		
事業コスト		(千円)	0	577,756		

R02年度当初積算根拠	報酬	120千円
	旅費	52千円
	需用費	2,390千円
	役務費	10,637千円
	委託料	642,238千円
	使用料及び賃借料	188千円
	負担金補助及び交付金	200千円
	扶助費	4,705千円

予算の方向性	理由	予防接種対象者の増加により委託料が増えた。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	44,186	50,134	44,367
事業費計		(千円)	0	44,186	50,134	44,367
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	1.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	8,387		
事業コスト		(千円)	0	52,573		

R02年度当初積算根拠	需用費	136千円
	委託料	49,998千円

予算の方向性	理由	ロタウイルスワクチン任意予防接種助成事業を実施するため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	002 在宅血液透析患者助成金支給事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 健康総務係				
総合戦略					新規・継続	新規				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-040101-13 健康増進に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	令和元年度～							
個別計画										
根拠法令						事業体制	職員のみ			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
在宅血液透析を行うものに対し、電気料金及び水道料金について助成金を支給することにより、在宅血液透析患者の経済負担を図り、在宅福祉の増進に資する。					在宅で血液透析を一月につきおおむね10回以上行った場合に、その月の電気料及び水道料金に対して10,000/月を支給する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付開始の広報（ホームページ、広報つくば掲載）を行う。 在宅血液透析を推奨している医療機関へ、事業開始の周知を行う。 在宅血液透析患者に対して助成金を交付する。 					<ul style="list-style-type: none"> 4月に助成金交付開始の広報（ホームページ、広報つくば掲載） 推奨医療機関へ事業開始の周知 在宅血液透析患者への助成（120,000×2名=240,000円） 					
成果					課題					
在宅血液透析患者に対して助成金を交付することにより、経済的負担の軽減を図ることができた。					令和元年度に開始した事業であり、認知度が低い。					
改善目標（R02年度にむけて）										
在宅血液透析を推奨する医療機関の把握に努め、適宜事業の周知、連絡調整を行う。										
指標の推移										
1	指標名	助成対象者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	110	360	360
事業費計		(千円)	0	110	360	360
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	24.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	766		
事業コスト		(千円)	0	876		

R02年度当初積算根拠

・在宅血液透析患者助成金
10,000円×12月×3人=360,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3
市民ニーズと今後の見込み	今後とも一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4
事業が計画的に進んでいるか	計画通りに進めることができた。
市の関与	2
行政が関与する必要性について	今後とも市が実施するほうがよい。
優先度	2
事業の優先度はどうか	継続して実施する必要がある。

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	035 母子保健指導に関する事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-040103-12 母子保健指導に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン							
根拠法令	母子保健法第9条 児童福祉法			事業体制	一部委託			
				市長公約	12	15		
概要								
事業の目的				事業の概要				
妊婦・産婦、乳幼児及びその保護者の健康の保持増進を図るとともに、乳幼児の保護者への子育て支援により子どもの健やかな成長を促す。				母子保健に関する知識の普及及び育児に関する相談支援を目的とし下記の事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 健康教育事業（マタニティサロン、あかちゃんランド、のびのび子育て講座、ペアレント・プログラム、出前教室等） 健康相談事業（母子健康手帳発行面接、すこやか健康相談、発達相談、9ヶ月妊婦電話相談等） 家庭訪問事業（あかちゃん訪問、養育支援訪問等） その他（産後ケア事業、子育てすくすくメール事業等） 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 母子保健コーディネーター等が、妊娠届出時相談を実施。 あかちゃん訪問にて出生児全員に訪問を行う。継続が必要な支援者に対して支援を継続する。 産後ケア事業により支援が必要な産婦に対し心身のケアや育児サポートを行う。 妊婦等や乳幼児と保護者に対して、教育事業を実施。 希望する親子へ相談事業を実施。必要に応じて障害福祉課や子育て相談室等と連携する。 				<ul style="list-style-type: none"> 教育事業実施数 3,055人：妊婦 644人 夫他430人 乳幼児等と保護者1,981人 相談事業実施数 2,755件 母子健康手帳発行面接 2,454件 あかちゃん訪問実施数 2,302件 実施率98.0% 養育支援訪問件数 実世帯454/延世帯480 産後ケア利用者数 実54/延174人 (利用者延回数：通所型127・宿泊型47) 				
成果				課題				
妊娠届出時、妊娠期、出産直後、子育て期（乳幼児や保護者）に、切れ目なく関わり、特に支援が必要な対象者に対してサービスを導入し、必要に応じた頻度で支援を実施できた。				<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の多い地域在住の保護者から、身近な場所で相談したいという要望がある。 核家族、転入者の増加にともない、子育てに困り感があっても身近に相談できる人がいない保護者が増加している。 				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代が居住する地域に近い市役所コミュニティ棟で、すこやか相談（育児相談）を実施する。 子育てに困り感のある保護者に対し、子育て講座等を新規に開催する。 								
指標の推移								
1	指標名	母子相談延人数 (人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,000.0	2,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,886.0	0.0
	指標の概要	すこやか健康相談、発達相談等の相談延人数						
2	指標名	子育てに不安を感じたときに、対処できる親の割合 (%)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	82.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.4	0.0

	指標の概要	1歳6か月健診、3歳健診時のアンケートで育てにくさを感じた際に相談できる場所を知っていると答えた親の割合						
3	指標名	あかちゃん訪問実施率 (%)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.0	98.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.0	0.0
	指標の概要	出生児に対してあかちゃん訪問を実施した率						
4	指標名	(人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	(件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	883.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	5,363	3,186	3,186	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	306	345	345	
	一般財源	(千円)	0	9,363	7,299	7,299	
事業費計		(千円)	0	15,032	10,830	10,830	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	8.70			
		時間外勤務 (時間)	0.00	368.00			
	臨時職員等	(有無)	無	有			
人件費		(千円)	0	59,919			
事業コスト		(千円)	0	74,951			

R02年度当初積算根拠	報償費	835千円
	旅費	72千円
	需用費	2,070千円
	役務費	125千円
	委託料	6,924千円
	使用料及び賃借料	39千円
	備品購入費	611千円
	負担金補助及び交付金	154千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	378 シルバーリハビリ体操指導士出前体操教室									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課	保健福祉部健康増進課				
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	係名	健康推進係				
					新規・継続	統合				
予算科目	08-030201-13 出前教室事業に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」					事業体制	一部委託			
根拠法令	介護保険法					市長公約	31-2			
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>年々高齢化率が高くなる中、高齢者が長く自立した生活を営むことができるように、介護予防の教室を通して、自らの健康を振り返り、運動習慣を身につけることに加え、要介護予防、ねたきりや認知症を予防する。</p>					<p>介護予防を目的にシルバーリハビリ体操指導士が地域の団体に対し、出前体操教室を実施している。</p> <p>※401 出前教室事業と統合</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
—					—					
成果					課題					
—					—					
改善目標（R02年度にむけて）										
—										
指標の推移										
1	指標名	参加延べ人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	20,472.0	25,472.0	24,013.0	24,015.0	27,505.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	2,092	0	0	0
	県支出金	(千円)	1,183	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,737	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,450	0	0	0
事業費計		(千円)	9,462	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,118	0		
事業コスト		(千円)	11,580	0		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由					
--------	----	--	--	--	--	--

方向性						
市民ニーズ						
市民ニーズと今後の見込み						
進捗状況						
事業が計画的に進んでいるか						
市の関与						
行政が関与する必要性について						
優先度						
事業の優先度はどうか						

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	401 出前教室事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課	保健福祉部健康増進課				
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	係名	健康推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	08-030201-13 出前教室事業に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」					事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約	31-2				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>高齢者になっても住み慣れた地域で、健康でいきいきした生活を送ることができるように、健康寿命を延ばし、地域に貢献する元気な高齢者を増やし、介護保険給付費の抑制と医療費の削減を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 出前教室のうち、参加者が65歳以上で、5名以上の団体を出前体操教室とし、地区の集会所や研修センター等に出向き、健康講話（介護予防に関する知識の普及・啓発などを含む）や体操を実施する。 シルバーリハビリ体操指導士3級養成講座を行う。 運動普及推進員の活動支援、養成を行う。 ※「健幸長寿日本一をつくばから」関連事業					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 出前体操教室の開催（ボランティアの協力を得ながら） シルバーリハビリ体操指導士による出前体操教室 シルバーリハビリ体操指導士3級養成講座 自主活動支援 事業啓発 運動普及推進員継続講座の開催 運動普及推進員養成講座の開催 					<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流出前教室：出前2月末実績 団体数82団体 実施回数609回 延参加人数6289人 シルバーリハビリ出前体操教室 団体数178団体 実施回数2,950回 延参加人数25,180人 シルバーリハビリ体操指導士3級養成講座 修了者15人 運動普及推進員 継続講座 実人数83人 延人数187人 養成講座 修了者23人 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流出前教室：地区活動を通して事業啓発を行い、新規団体の獲得につなげることができた。 運動普及推進員継続講座を開催し、会員のスキルアップと交流を図ることができた。 					<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流出前教室：地区により利用団体数が少ないところがある。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
多世代交流出前教室：新規団体を増やすため、民生委員や区長へ事業説明を行い、広報やチラシ配布を行う。										
指標の推移										
1	指標名	出前体操教室 延べ参加人数 (人)					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	7,000.0	7,000.0	6,300.0	6,500.0		
	実績	0.0	0.0	6,586.0	7,615.0	6,151.0	6,289.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	シルバーリハビリ出前体操教室 延べ参加人数 (人)					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28,000.0	28,000.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	27,505.0	25,180.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目		平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円) 1,852	3,475	4,531	0
	県支出金	(千円) 1,047	1,964	2,561	0
	地方債	(千円) 0	0	0	0
	その他	(千円) 3,309	6,207	8,093	0
	一般財源	(千円) 2,169	4,068	5,305	0
事業費計		(千円) 8,377	15,714	20,490	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人) 1.50	2.00		
		時間外勤務 (時間) 60.00	0.00		
	臨時職員等	(有無) 有	有		
人件費		(千円) 10,735	13,566		
事業コスト		(千円) 19,112	29,280		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 7,788千円 (保健師1,549千円、看護師2,544千円、管理栄養士3,334千円、歯科衛生士361千円) ○職員手当 290千円 時間外手当 (保健師64,512円、看護師111,232円、管理栄養士114,144円) ○報償費 6,702千円 (講師謝礼45千円、指導員謝礼6,657千円) ○旅費 635千円 ○需用費 1,538千円 (事務用消耗品205千円、図書24千円、電気用消耗品14千円、衛生医療用消耗品110千円、厨房用消耗品102千円、テキスト代352千円、参加記念品275千円、料理講習会等の材料代280千円、運動教室用消耗品176千円、印刷製本費85千円) ○役務費 140千円 (ボランティア障害保険料140千円) ○委託料 3,074千円 (インストラクター3,074千円) ○使用料及び賃借料 240千円 (シルリハ養成講習大型バス105千円、高速料金9千円、シルリハフォローアップ研修大型バス68千円、中型バス58千円)
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	402 運動推進事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課	保健福祉部健康増進課				
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	係名	健康推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-040105-11 運動推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」					事業体制	一部委託			
根拠法令	健康増進法				市長公約	31-2				
概要										
事業の目的					事業の概要					
中高年齢者の健康増進、体力改善や老化防止、生活習慣病予防のための運動を通して、疾病予防や運動の習慣づけを目指し、健康寿命を延伸する。					<ul style="list-style-type: none"> 40歳～64歳までの中高年齢者を対象とした運動教室 ※H30年度から、名称をアクティブ運動教室に変更 つくばウォークの日 健康づくり・介護予防及び運動習慣の普及として、毎月第一日曜日に実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> アクティブ運動教室（40歳から64歳）2コース設定 月曜日コース年間35回実施、金曜日コース年間43回実施 参加者を募るチラシや回覧などを活用した周知啓発活動を行う。 つくばウォークの日 イベント6回地区ウォーク4回実施 					（アクティブ運動教室） 参加者人数 実人数65名 延人数1778名 実施回数73回 〈つくばウォークの日〉 参加者人数 実人数425名 延人数818名 イベント4回実施、2回中止（7月：雨天のため、3月：新型コロナウイルス感染症対策のため） 地区ウォーク5回/年※第一日曜日からそれに続く金曜までの日を「地区ウォーク週間」とし、ウォーキングを実施した月を1回としてカウント）					
成果					課題					
運動教室を1コース増やしたことで、参加者が増えた。地区ウォーク実施可能日を昨年度より増やしたことにより、地区でのウォーキングを活性化させることができた。					イベントウォークの新規参加者を増やす必要がある。地区ウォークを実施する運動普及推進員を増やす必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
チラシやウォーキングマップの配布を行うことによりイベントウォークの新規参加者を増やす。運動普及推進員に通知を送る機会に、地区ウォークの実施を勧めるための資料を同封し、実施者を増やす。										
指標の推移										
1	指標名	アクティブ運動教室参加延べ人数 (人)						活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1,464.0	1,778.0	0.0		
	指標の概要	H30年から対象年齢区分及び名称変更 コース数変更をしているため、前年度の実績数と比較できない。 (いきいき運動教室：4コース：40～74歳) → (アクティブ運動教室：1コース：40～64歳に変更)								
2	指標名	つくばウォークの日参加延べ人数 (人)						活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	431.0	818.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	533	637	600	0	
	一般財源	(千円)	581	1,237	9,203	0	
事業費計		(千円)	1,114	1,874	9,803	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30			
		時間外勤務 (時間)	55.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	有	無			
人件費		(千円)	2,255	2,035			
事業コスト		(千円)	3,369	3,909			

R02年度当初積算根拠	(歳出) 報償費 795千円 旅費44千円 需用費2,356千円 印刷製本費367千円 修繕費350千円 役務費252千円 使用料及び賃借料3,683千円
	(歳入) アクティブ運動教室参加費 600千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	404 いきいき・元気はつらつ運動教室									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課	保健福祉部健康増進課				
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	係名	健康推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	08-030201-14 いきいき・元気はつらつ運動教室事業				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間 平成14年度～				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」					事業体制	一部委託			
根拠法令	健康増進法、介護保険法				市長公約	31-2				
概要										
事業の目的					事業の概要					
健康意識を高めることで転倒・寝たきり予防、生活機能の維持向上を図り、閉じこもりの予防をし、いきいきとした生活をが送ることができるようにする。					・介護予防を目的とした対象年齢65歳以上の運動教室を実施する。 いきいき運動教室（65～74歳） 元気はつらつ運動教室（75歳以上）					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・元気はつらつ運動教室（75歳以上）を4コース開催 各コース43回開催 ・いきいき運動教室（65歳から74歳）を3コース開催 各コース43回開催 ・チラシや回覧などを活用した周知啓発活動を実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・（元気はつらつ運動教室） 参加人数 実人数124名 延人数4,039名（R2.3.13現在） 実施回数 172回 ・（いきいき運動教室） 参加人数 実人数119名 延人数3,894名（R2.3.13現在） ・市内公共施設37か所へ年2回のチラシ配布と年2回の区会回覧などの周知啓発活動を実施した。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果より、参加者の身体的・精神的・社会的活動において改善がみられた。 ・体力測定の結果より、継続参加者の体力の維持・向上がみられた。（8割） 					参加者数については横ばいであることから、より多くの新規の参加者を増やす。					
改善目標（R02年度にむけて） 広報や地区回覧等の周知活動を充実させる。										
指標の推移										
1	指標名	参加延べ人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	5,022.0	6,147.0	6,752.0	7,149.0	8,232.0	7,933.0	0.0		
	指標の概要	H30から、いきいき運動教室の対象年齢及びコース数を変更しているため、前年度との比較はできない。								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,526	942	933	0
	県支出金	(千円)	863	532	528	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,727	4,389	4,189	0
	一般財源	(千円)	1,787	1,103	1,098	0
事業費計		(千円)	6,903	6,966	6,748	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	13,960	13,749		

R02年度当初積算根拠	(歳出) 報酬3,454千円 職員手当241千円 旅費178千円 需用費234千円 委託料234千円 備品購入費36千円
	(歳入) いきいき・元気運動教室参加費2,520千円 介護保険地域支援事業交付金 国・県1,419千円 支払い基金1,163千円 一般会計繰り越し金539千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	383 母子健康診査事業									
戦略プラン	I	1	2	子育て環境の整備	担当部課 係名	保健福祉部健康増進課 母子保健係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-040103-11 母子健康診査に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン									
根拠法令	母子保健法					事業体制	一部委託			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>各種健診を行うことで、疾病や心身の異常を早期に発見する。 育児に関する情報提供及び相談を行い、保護者の育児不安の軽減を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 妊婦一般健診：妊婦が適切な時期に受診し健康管理及び疾病の早期発見、早期治療が行えるよう支援する。 産婦健診：受診により、産後うつを早期に発見する。 乳児一般健診：乳児期の異常を早期に発見する。 1歳6ヶ月健診・3歳健康診：幼児期の異常の早期発見、健康管理の向上、情報提供及び相談を行い 育児不安の軽減を図る。 2歳歯科検診：歯科医院での個別検診を実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 妊婦・産婦・乳児の健康管理、異常の早期発見等を目的に、健康診査費用の一部助成を行う。 新生児聴覚検査及び5歳児健診の検討を行う。 1歳6ヶ月健診の個別歯科検診について検討を行う。 2歳歯科検診の方向性について検討を行う。 1歳6ヶ月及び3歳健診の実施方法（回数、会場等）を検討する。 1歳6ヶ月及び3歳健診未受診者勧奨を行い、また、関係部署と連携しながら未受診者把握に努める。 					<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健診：延26,730人 産婦健診：延3,834人 乳児健診：延4,220人 1歳6ヶ月歳健診：43回 2,236人（受診率92.7%） 2歳歯科検診：2,033人（受診率66.4%） 3歳健診：40回 2,299人（受診率90.5%）心理相談113人 1歳6ヶ月健診の個別歯科検診と2歳歯科検診の方向性及び1歳6か月健診の午前健診について検討した。 健診により異常の早期発見、育児相談を実施した。 母子健診の保育所等との情報共有について検討した。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 試験的に午前中に1歳6ヶ月健診を行い、実施が可能であることを検証でき次年度に計画することができた。 歯科医師会と協議し、2歳歯科検診を、1歳6ヶ月歯科個別検診に移行する体制に整えた。 育児に関する情報提供及び相談を行い保護者の育児不安を軽減した。 					<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の増加に伴い、健診の待ち時間が増えた。 3歳健診以降、行政が行う健診がないことから、子育てに関する困り事や発達に関する健診や相談する機会がない。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> 1歳6ヶ月健診の実施回数を増やし、会場の流れを調整することで、健診時の受診者の負担を軽減する。 5歳健診の実施にむけて検討を行う。 										
指標の推移										
1	指標名	1.6歳健診受診率					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	97.0	97.0		
	実績	94.7	95.2	96.2	95.9	97.3	92.7	0.0		
	指標の概要	令和2年3月実施の健診は、コロナウイルス対策のため健診人数を減らして実施した。								
2	指標名	3歳健診受診率					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	97.0	97.0		
	実績	95.6	95.0	95.6	96.1	101.2	90.5	0.0		

	指標の概要	令和2年3月実施の健診は、コロナウイルス対策のため健診人数を減らして実施した。						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和1年度 (決算)	令和2年度 (当初)	令和3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	9,000	10,800	10,105	10,105
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	240,494	209,057	260,006	260,006
事業費計		(千円)	249,494	219,857	270,111	270,111
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	5.20	5.20		
		時間外勤務 (時間)	421.95	412.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	37,745	36,286		
事業コスト		(千円)	287,239	256,143		

R02年度当初積算根拠	報償費	430千円
	旅費	42千円
	需用費	1,505千円
	役務費	3,915千円
	委託料	256,559千円
	備品購入費	115千円
	扶助費	7,545千円

予算の方向性	理由	1.6歳健診回数増のため
拡充	理由	1.6歳歯科検診の委託料増のため

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	398 周産期医療体制の整備事業									
戦略プラン	I	1	2	子育て環境の整備			担当部課	保健福祉部健康増進課		
総合戦略	II	1	(1)	子育て環境の整備			係名	母子保健係		
							新規・継続	継続		
予算科目	01-040101-14 医療環境整備に要する経費									
要求区分				事業期間						
個別計画							市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令							事業体制	職員のみ		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>だれもが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進することを目的とする。</p> <p>※周産期とは 妊娠後期（妊娠22週）から出産直後（生後7日未満）までの時期をいう。この時期の健康を産科と小児科が協力して守ることを周産期医療という。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・H25年9月、筑波大学との連携によるつくば市バースセンター及びつくば市寄附講座を開設 ・市民の出産の場を安定的に確保する。 ・バースセンター設置の効果等について評価委員懇話会を設置し、検証を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・2月頃 つくば市バースセンターに関する懇話会開催 ・バースセンターの認知度向上及び市民の利用促進を図るため、市報掲載、母子手帳交付時にバースセンターのチラシを配布 ・毎月 あかちゃん訪問時に出産場所等に関する市民アンケート調査を実施する。 ・産婦人科施設開設支援事業助成金の周知を図る。 					<ul style="list-style-type: none"> ・バースセンターの認知度向上及び市民の利用促進を図るため、母子手帳交付時にチラシ配布、市報掲載 ・あかちゃん訪問時に出産場所等に関するアンケート調査を実施し、現状把握を行った。回答数2,038人）市内で予約がとれず市外県外出産した数56人 ・2/20バースセンター報告会開催。 ・茨城県産婦人科医会HPに産婦人科施設開設支援事業記事掲載。 					
成果					課題					
バースセンター利用者の声を掲載した市民が理解しやすいチラシを作成し配布することができた。					<ul style="list-style-type: none"> ・バースセンターは、合併症や妊娠経過の異常が無く、リスクの低い妊婦が対象であることから、市民が利用に対してハードルが高いと感じている。 ・産婦人科施設開設支援事業助成金申請がない。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> ・バースセンターに関して、市民に継続して母子健康手帳発行時のチラシ配布や市報掲載にて周知を図る。その他健康増進課窓口で転入者（妊婦や乳幼児の保護者）へチラシを配布する。子育て支援拠点にチラシの設置を依頼する。 ・産婦人科開設支援事業助成金に関して市報に掲載する。茨城県産婦人科医会HP記事への掲載を引き続き依頼し、事業に関する周知を継続する。 										
指標の推移										
1	指標名	バースセンターの分娩数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	50.0	80.0	100.0	120.0	120.0	120.0	120.0		
	実績	48.0	119.0	114.0	119.0	111.0	112.0	0.0		
	指標の概要	毎年1月～12月のバースセンターでの分娩者数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	50,000	50,000
	一般財源	(千円)	43,864	42,077	42,130	42,130
事業費計		(千円)	43,864	42,077	92,130	92,130
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	22.50	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,585	3,392		
事業コスト		(千円)	47,449	45,469		

R02年度当初積算根拠	報償費	5千円
	需用費	79千円
	負担金補助及び交付金	50,000千円
	寄附金	42,000千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	390 健（検）診事業							
戦略プラン	I	1	5	健康づくりの推進	担当部課	保健福祉部健康増進課		
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予	係名	成人保健係		
					新規・継続	継続		
予算科目	01-040104-11 健診事業に要する経費				事業分類	法定事務		
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	健康増進計画「健康つくば21」					事業体制	全て委託	
根拠法令	健康増進法 等				市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民が生涯にわたり健康な生活をおくることできるように、病気の早期発見・早期治療体制の充実を図る。				<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診 肝炎ウイルス検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診、基本健診、成人歯科検診の実施 受診方法：集団及び個別（医療機関）検診の2種類 国県補助事業 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 健康増進事業 茨城県市町村がん検診受診率向上事業 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関検診 4～2月（一部6月～）がん検診（胃、大腸、前立腺、子宮、乳）、結核、肝炎、胃内視鏡、胃リスク検診、成人歯科検診 集団検診 4～5月、10月、12月（計52日）がん検診（胃、肺、大腸、前立腺）、肝炎検診 骨粗しょう症検診 8月（計6日間） 基本健診：9月（計12日） レディース検診 9～2月（計30日）子宮、乳がん集団検診 6～11月 コールセンター、Web、はがき申込み実施 				がん検診、各種検診の受診者数（集団＋医療機関） 胃がん4,554人、肺（結核）15,488人、大腸がん11,613人、前立腺がん5,934人、肝炎1,685人、胃がんリスク検診391人、子宮がん1,303人、乳がん6,002人、基本健診2,536人、骨粗しょう症検診641人、成人歯科検診802人				
成果				課題				
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画のスケジュールどおり事業を実施できた。 胃がん内視鏡、胃がんリスク検診を今年度から実施した。 肺がん、胃がん、乳がんで受診率が向上した。 基本健診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診のいずれも受診率が向上した。 				<ul style="list-style-type: none"> 一部の医療機関検診は6月開始のため、4～5月に受診することができない。 生活習慣病の重症化予防やがんの早期発見早期治療のため若い年代に対する早期介入を行い、さらなる受診率向上に取り組む必要がある。 				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> 胃内視鏡、胃リスク、大腸がん、前立腺がん、結核、肝炎の医療機関検診を4月から実施する。 若い世代の受診率向上のため、基本健診、40歳の大腸がん・肺がん・胃がんに対する自己負担額を無料とする。 								
指標の推移								
1	指標名	大腸がん検診受診率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	9.4	9.7	9.2	9.1	9.2	9.2	0.0
	指標の概要	受診率算定式：40歳以上の受診人数/40歳以上の市の人口						
2	指標名	肺がん検診受診率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	8.3	8.4	8.4	8.2	8.0	8.2	0.0

	指標の概要	受診率算定式：40歳以上の受診人数/40歳以上の市の人口						
3	指標名	胃がん検診受診率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	1.0
	実績	4.6	4.6	4.3	3.9	3.6	3.6	0.0
	指標の概要	受診率算定式：～H30年度 40歳以上の受診人数/40歳以上の市の人口 R01年度 胃部エックス線検査受診者数+胃内視鏡検診受診者数/40歳以上の市の人口						
4	指標名	乳がん検診受診率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	11.3	12.1	13.4	13.8	14.1	15.8	0.0
	指標の概要	受診率算定式：～H30年度 30歳以上の受診人数/30歳以上の市の人口 R01年度 36歳以上偶数年齢の受診人数/36歳以上偶数年齢の市の人口						
5	指標名	子宮がん検診受診率 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	10.9	11.5	11.6	11.6	11.9	11.1	0.0
	指標の概要	受診率算定式：20歳以上の受診人数/20歳以上の市の人口						

コストの推移

項目		平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円) 7,483	7,502	7,500	0
	県支出金	(千円) 11,340	10,367	10,367	0
	地方債	(千円) 0	0	0	0
	その他	(千円) 19,175	18,538	16,274	0
	一般財源	(千円) 206,579	170,093	254,160	0
事業費計		(千円) 244,577	206,500	288,301	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人) 4.50	5.50		
		時間外勤務 (時間) 800.00	800.00		
	臨時職員等	(有無) 有	有		
人件費		(千円) 33,743	39,276		
事業コスト		(千円) 278,320	245,776		

R02年度当初積算根拠	報酬	1,860千円
	職員手当等	298千円
	報償費	88千円
	旅費	124千円
	需用費	9,869千円
	役務費	17,443千円
	委託料	258,613千円
	負担金補助及び交付金	6千円

予算の方向性	理由	受診者増加による事業費拡充のため。
拡充		

方向性

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,261	1,790	2,075	0
事業費計		(千円)	1,261	1,790	2,075	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	8,318	8,573		

R02年度当初積算根拠	需用費	1,291千円
	役務費	784千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報											
事務事業名	392 生活習慣病予防教育事業										
戦略プラン	I	1	5	健康づくりの推進			担当部課	保健福祉部健康増進課			
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予			係名	成人保健係			
							新規・継続	継続			
予算科目	01-040104-12			健康教育・相談に要する経費						事業分類	任意的事務
要求区分				事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	つくば市健康増進計画										
根拠法令	健康増進法						事業体制	職員のみ			
							市長公約				
概要											
事業の目的					事業の概要						
<p>健康管理に関する自己管理能力を支援し、生活習慣病の予防及び生活習慣病患者の増加を防ぐため、知識の普及と情報の提供により健康意識を高める。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室 健康に関する講演会を開催 普及啓発活動 乳幼児健診及び大人の集団健診会場において、乳がん、骨粗鬆症、禁煙、歯周病予防のチラシの配布やミニ講話を実施 各種検診・予防接種予定表「ライフプランすこやか」を発行し、配布 						
評価											
事業計画					活動実績						
<p>年間を通して各種教室・啓発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室 2回（糖尿病に関する講話） 普及啓発事業 通年 市民公開講座 1回（つくば市医師会主催） 広報への健康に関する記事掲載 年間健診、予防接種予定表「ライフプランすこやか」の作成、配布 					<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室 2回 43人（前期26人、後期17人） 普及啓発事業（禁煙、歯周病、骨粗鬆症、乳がん予防）44,754人 市民公開講座 1回 192人（糖尿病がテーマ） 市報への掲載だけでなく、イベントでも幅広い年代に歯周病予防や受動喫煙防止について啓発をした。 「ライフプランすこやか」配布 各戸配布他、市役所、保健センター、窓口センター、交流センターにて配布 						
成果					課題						
<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室、市民公開講座では、専門医による講話を実施することで、市民に糖尿病に関する情報を正しく提供することができた。また、医療機関と連携を強化することができた。 普及啓発事業は、健診・教育事業時に幅広い年代に関わり、健康意識の向上が図れた。 					<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室では、参加者の満足度は高いが、後期実施日では参加人数が減少しているため、参加人数を増やす工夫が必要である。 健康増進法の改正により、受動喫煙の防止をさらに推進していく必要がある。 						
改善目標（R02年度にむけて）											
<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室では、市民が飽きずに最後まで取り組めるよう、講話のみではなく、体組成測定や血糖測定などを同時に実施できるよう検討する。 喫煙者の禁煙に向けた取り組みを支援するため、「つくば市禁煙外来助成金」制度を利用してもらえるよう周知する。 											
指標の推移											
1	指標名	市民の各種事業への参加者数					(人)		活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	16,260.0	40,000.0	40,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0			
	実績	39,102.0	28,642.0	49,249.0	39,182.0	45,930.0	44,989.0	0.0			
	指標の概要										
2	指標名						()				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	200	200	200	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,246	3,872	4,469	0
事業費計		(千円)	4,446	4,072	4,669	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.40	1.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	9,880	9,497		
事業コスト		(千円)	14,326	13,569		

R02年度当初積算根拠	旅費	12千円
	需用費	4,058千円
	役務費	162千円
	負担金補助及び交付金	437千円

予算の方向性	理由	禁煙外来助成制度開始のため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	393 栄養改善事業									
戦略プラン	I	1	5	健康づくりの推進			担当部課	保健福祉部健康増進課		
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予			係名	健康推進係		
							新規・継続	継続		
予算科目	01-040105-14 栄養改善事業に要する経費									
要求区分				事業期間	平成27年度～令和 2年度					
個別計画	つくば市食育推進計画、第3期つくば市健康増進計画「健康つくば21」						市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	食育基本法							事業体制	一部委託	
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市民が、食に関するさまざまな知識と食を選択する能力を身につけ、生涯にわたって健全な食生活の実現を図る。					<ul style="list-style-type: none"> ・食育普及活動 ・食生活改善推進員の養成 ・地区組織活動の推進 					
評価										
事業計画					活動実績					
通年 : 食育普及講座を開催（年間23回） イベントや各事業内で、食育普及啓発チラシを配布 食生活改善推進員会員研修を開催（年間30回） 出前栄養教室を実施 食に関する地区伝達講習会を実施 10月 : 食育講演会を実施 10月～ : 食生活改善推進員養成講習会を実施					<ul style="list-style-type: none"> ・食育普及講座を開催、生活習慣病予防等の講話及び調理実習を実施した。 ・食生活改善推進員会員に対し、知識向上のために研修を実施した。 ・食生活改善推進員を8名養成し、8名が新会員となった。 ・食生活改善推進員の食育活動として、8000人以上の市民に食育を行った。 					
成果					課題					
市の食育事業や食生活改善推進員の活動を通し、多くの市民に対し、生活習慣病予防などの食事について知識を普及することができた。また、食生活改善推進員の知識を向上させることで、正しい情報を提供することができた。					<ul style="list-style-type: none"> ・食育普及講座では、満足度が高くリピーターが多い一方、周知不足等により、新規の参加者が伸び悩んでいる。 ・食生活改善推進員は、活動回数や質に差がある。 ・食生活改善推進員養成講習会の参加者が減少している。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> ・食育普及講座の内容や周知方法を工夫し、認知度を高め、新規の参加者を獲得する。 ・食生活改善推進員に対し会員研修会を実施し、市民に普及してもらいたい食育の正しい知識を指導することで、伝達の質を向上し、個人の活動の幅を広げる。 ・食生活改善推進員養成講習会のチラシ配布等により、養成講習会及び食生活改善推進員活動の認知度を上げる。 										
指標の推移										
1	指標名	食生活改善推進員養成修了者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0		
	実績	11.0	25.0	17.0	14.0	12.0	8.0	0.0		
	指標の概要	食生活改善推進員養成講習会において必要単位を取得した者の人数								
2	指標名	食生活改善推進員活動回数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	235.0	235.0	235.0	235.0	235.0	235.0	0.0		
	実績	231.0	250.0	246.0	199.0	235.0	210.0	0.0		

	指標の概要	食生活改善推進員が、地域住民に対して食育指導を行った回数						
3	指標名	食生活改善推進員による伝達人数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0
	実績	11,782.0	10,770.0	12,509.0	7,524.0	7,661.0	8,321.0	0.0
	指標の概要	食生活改善推進員が、食育指導を行った者の人数						
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	17	0	0	0	
	一般財源	(千円)	2,091	2,074	2,279	0	
事業費計		(千円)	2,108	2,074	2,279	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00			
		時間外勤務 (時間)	80.00	5.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	14,313	13,579			
事業コスト		(千円)	16,421	15,653			

R02年度当初積算根拠	積算根拠						
	(歳入) 衛生費雑入 食生活改善推進員養成講習会参加費 1,500円×20人=30千円 (歳出) 報償費34千円 講師謝礼 食育講演会 (講師謝礼25,000円×1人)=25千円 食生活改善推進員養成講習会謝礼9,000円×1人=9千円 旅費30千円 普通旅費 研修 (東京) 3,720円×2人×4回=30千円 需用費331千円 消耗品 229千円 印刷製本費 102千円 (栄養指導用リーフレット代) 役務費10千円 手数料 10千円 (保菌検査手数料) 委託料1,854千円 食生活改善事業地区活動委託1,854千円 負担金及び交付金20千円 講習会受講料20千円						

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報											
事務事業名	394 生活習慣病予防相談事業										
戦略プラン	I	1	5	健康づくりの推進			担当部課	保健福祉部健康増進課			
総合戦略	II	1	(4)	すべての世代の健康づくりと高齢者介護予			係名	成人保健係			
							新規・継続	継続			
予算科目	01-040104-12			健康教育・相談に要する経費						事業分類	任意的事務
要求区分				事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	つくば市健康増進計画										
根拠法令	健康増進法						事業体制	職員のみ			
							市長公約				
概要											
事業の目的					事業の概要						
<p>健診受診者が健康に関する問題を総合的に把握し、健康の保持増進を図る。</p> <p>食事や運動、休養など日常生活を振り返り見直すことで生活習慣の予防と悪化を防ぎ、健康増進を図る。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問指導 ・基本健診時健康相談、事後指導 ・成人健康相談：保健師、栄養士による個別健康相談 ・健康手帳の交付 						
評価											
事業計画					活動実績						
<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診時における健康相談の実施。 ・基本健診事後指導の実施。 生活習慣改善レベル者については、通知等で相談や教室参加への情報提供を実施。 ・検査高値者については、訪問・電話・通知等で受診勧奨、面接相談や教室参加等の勧奨を実施する。 ・定期的に各保健センターにおいて健康相談を開催する。 ・希望者に健康手帳、女性の健康手帳を交付する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診時健康相談12回 2,381人 ・基本健診事後指導 生活習慣改善レベル者への情報提供通知1,195人 検査高値者への受診勧奨通知115人 ・成人健康相談（電話相談含む）916人 ・家庭訪問256人 ・健康手帳交付数151冊、女性の健康手帳交付数476冊 						
成果					課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診時健康相談、成人健康相談、家庭訪問など個別の健康相談により、相談者と食事・運動など生活習慣の振り返り、見直しを行い、健康づくりの意識づけを行うことができた。今年度は、基本健診時健康相談の重点指導者に35～39歳男性を加え個別相談を行った。 					<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診事後指導で受診勧奨者に訪問・電話で状況を確認するが、不在の場合が多く、事後の保健指導が難しい。 						
改善目標（R02年度にむけて）											
<ul style="list-style-type: none"> ・受診状況の把握ができなかった人については、次年度の健診時健康相談において状況確認を行い、保健指導とともに健康状態の把握に努める。 											
指標の推移											
1	指標名	健康相談利用者数					(人)		活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	実績	3,150.0	3,001.0	4,844.0	5,000.0	6,803.0	4,863.0	0.0			
	指標の概要										
2	指標名						()				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	166	166	166	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	26	338	420	0
事業費計		(千円)	192	504	586	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	2.00	2.00	
		時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	14,114	13,566		
事業コスト		(千円)	14,306	14,070		

R02年度当初積算根拠	需用費	379千円
	役務費	207千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		